

★パレスチナ連帯の夕べ 11/16 モロッコ ラバト

AASPO第11回大会終了後、同じ場所でパレスチナ支援委員会の主催で「連帯の夕べ」が開かれた。片岡満北海道AALA事務局長が作成した内容のメモは以下の通り。

<16時10分～ 委員会会合>

司会はパレスチナの女性（委員長）

◎司会：パレスチナ人民支援のために、よく来てくれました。

◎アタラシ氏

パレスチナ支援委員会の皆さん、1年半前にカイロで開催以来、3回目。  
6か月間の活動でビデオフィルムを作成した。

パレスチナはアラブのみならず国際的な問題。  
ロシアの招きで次の大会を開く。ロシアは問題の解決を進めてくれるでしょう。  
新しい思想を。今の時代に合った動きを。  
次の大会までにもっと～

◎司会：AASPOで大義のために闘いたい。

パレスチナでの抑圧に対抗してパレスチナ委員会はいろいろ活動している。  
バンドン精神によってもっと活発に、有効な支援ができるよう、努力を倍加したい。  
困難を克服  
パレスチナの大義を無くす企みをどうするか。

◎パレスチナ

委員長ありがとう。

たくさんの活動、毎月恒例の催しを通じて共通の～

占領犯罪に抗議するアラブ諸国の中で活動してきた。

ジャーナリズムを通じて占領犯罪を告発してきた。

多くの国の協力を得て、たくさんの人が参加して、いろんな解放のための運動を広げてきている。

映画、印刷物。

日本からの援助の申し出は貴重。

私たちは、財政が許す限り、この映画を皆さんに提供したい。

モロッコ社会党国際局が宣伝物を作り、新しい連帯の声明が出され、この映画が上映された。

また、モロッコ労組が招いてくれて、ラスベラティ（囚人？）を解放するための宣伝を行った。

皆さんの国々の様々な意見を出してほしい。

フィルムを送ってほしいという申し出があったが、もっと寄せてほしい。

◎司会：囚人の証言をまとめたフィルムを持ってくるべき人(?)が、イスラエルの妨害で来られなかった。

◎フロアから<エジプト?>

この国際委員会を活発にすべき。

エジプトの委員会は提案を持ってきている。この提案を次のカイロの大会に持ち越して～パレスチナの代表も4月の会議に招待したい。

◎パレスチナ

ロシアがそれを受け入れてくれるなら延期も。カイロでの会議にロシアから支援ある。

これからいろんな提案を練り上げたい。

世紀の取り引き、パレスチナの大義を無きものにする企み～

1200万人の半分、600万人がパレスチナの外におり、その三分の二が難民となって周辺国に。

50年に亘る困難。難民たちはレバノン、シリア、エジプトに逃げている。南米にも。

大義を失くしたイスラエルは、48年の国連決議を忘れさせようとしている。

支援には二つある。直接的に難民を支援するものは、学校・教育など。

オーストラリアがキャンプに学校を作っている。フランスは教師や医師を送っている。

アメリカは3億ドルの支援を停止。まさに大義を失くすもの。

歴史を偽造して、統計からも難民を排除。

全ての国が毎年、財政支援の約束をしてくれる。サポートの意思があればぜひお願いしたい。

◎質問：この、大義を失くす企みについて。

とくにオマーンの中にネタニヤフを受け入れる～

ほかの国にも同じことを～

アラブ連盟は能力があるのに～

◎応答：アラブの中にイスラエルと平和条約を結んだヨルダンやエジプトがあるが、これ

は大きいとは思わない。秘密の協定を無んでいる国もある。オマーンは公式に受け入れた。

イスラエルの高官が4つのアラブ国へ。それについて、会議をやめろと声を上げている。

オマーンの首長が受け入れたのは驚き。

(アラブの?)片方のグループは、和平プロセスに何もしていない。

基本は明確。アラブのイニシアチブを実行する。

パレスチナ分割以後、48年の約束に従えば関係は回復する。しかし～

カタールはソ連の事務所を持っていたが～

パレスチナとネタニヤフがロシアに招かれるという嘘の情報～

◎ヌリ書記長

アラブ諸国とイスラエルの関係は、先ほどの会議でも話題に。

ヨーロッパの大衆的な運動、例えば英仏で抗議行動が起きている。それを支持し、拡大していくべき。

ベトナム反戦のように。

私たちの中では、アメリカ代表も来て～

◎パレスチナ

一つの提案だと思うが、中間的にはもっと～

宣伝物、宣伝機関

仲間に送り、コミュニケーションを密に。

モロッコの委員会も私も、ドキュメンタリーを世界に広げたい。

欧州にも組織が～

リビアはじめ他の国も支援を継続してくれて有難い。

◎司会：ロシアのほかに提案は？

◎フロアから

私は、各アラブ諸国が、イスラエルを正常化するために動かないとダメだと思う、首都移転、どう考える？

◎パレスチナ

前回の会議から、各組織から一人を選び、パレスチナ委員会に入ってもらっている。計画を示してもらいたい。今の計画に盛り込む提案があればぜひ。

ドキュメントフィルムについて言うと、これは2017年に作り、各政党が見ているから、みんなで見て広めてほしい。世論喚起に使ってほしい。

50万人のパレスチナ人が囚人に。そのドキュメンタリーです。

◎エジプト

上映を計画している。メディアにも提供するので、コピーがほしい。

他のフィルムも作ってくれればいい。

元囚人を招いて、話を聞くこと（ライブ・ミーティング）もできるのではないかな。

◎パレスチナ：それはいい考えです。何枚でもコピーします。

コピーを作る権利を与えますし、いくらでも渡します。

◎司会

ドキュメンタリーフィルムを広めることにしましょう。

15分間、個人的経験を聞きます。その後、ドキュメンタリーを見たい。

彼女は（映像に出てくる）3人の女性のうちの一人で、3回も監獄に入れられた。

◎元囚人の女性のスピーチ

全ての女性のために。

感謝の言葉を捧げたいと思います。

はじめに、パレスチナ女性としての経験を話します。

イスラエルには1万5千人の女性の囚人がいる。病気の人も。

監獄が一杯になっている。

囚人には、若い15歳、17歳や、80歳以上の高齢者もいる。

保険も適用されないまま怪我をして、16年間も入れられた人もおり、みな酷い状況で苦しんでいる。

21人の母親が、夫や子どもから引き離されている。

（女性のスピーチの音量が大きくて聞き取れない）

怪我をしたまま収容されている。実弾で撃たれた人も。

2015年には、15歳の人も怪我のまま収監された。

（聞こえない部分多い）

文化を根こそぎにしようとするイスラエルこそ犯罪者だ。

ナブレスにある政治的情婦（？）になっている女性のドキュメントを作る。

父は美しい写真を残した。ナセルの肖像。大切な宝。

2013年に投獄された理由は、3人の女性と一緒に、84年に占拠された場所に入ったから。でも、そこは元々私の土地だった。

パレスチナの囚人たちは、家族を忘れるよう仕向けられている。家族と離れるのは悲しいこと。

私たちがどう闘ってきたか、調査の人に語りたい。

文化のことを詳しく。毎日寝られない経験をしたことも。

苦しみが長く続くと、どうしても良くなっていく。

窓も、水も、風もない場所に閉じ込められている。

女性の状態について2つのレポートを出したい。

7月5日に女性たちがハンストをした。女性が初めてではないが。

外部でも2時間の抗議をやり、その中で話げできた。

ストライキを行った女たちは、ほかに移された。

全ての国の支援に感謝します。

◎パレスチナ

研究の一部を知らせてもらった。コピーを翻訳して皆さんに送りたい。  
この機会を与えてくれた委員会に感謝したい。招待にも。

◎上映（57分）

ジハードに参加した人のドキュメンタリー・フィルム。  
捕虜の交換で帰されたが、旅行はできない。